

平成30年 2 月 9 日

陳情第129号

ラグビー準備委員会の運営について改善を求める陳情

## ラグビー準備委員会の運営について改善を求める陳情

### 【陳情趣旨】

平成28年4月からラグビー準備委員会（以下、委員会という）なる小田原市役所が主導する団体が、公費を主たる財源として活動しています。

さて、その委員会が2019年に日本を開催国とするラグビー・ワールドカップにおいて、オーストラリア代表チームが募集している「ホスト都市」に応募するなど、委員会の目的に逸脱する活動をしています。

つまり、委員会の規約によれば、この委員会の目的（規約第2条）は、「城山競技場がラグビー日本代表チームの練習拠点になったこと・・・」としていますが、そのような事実は寡聞にして聞き及びません。

それでも、委員会の事業（規約第4条第4項）にラグビー日本代表チームの受入に関することを明示しております。外国チームは対象ではありません。

国際大会で競合するチームを同時あるいは前後して受け入れることができるとでも考えているのでしょうか。まさに、規約に定めのない目的外活動と言わざるをえないわけです。

また、主たる財源である小田原市からの負担金の授受を、委員会事務局長を兼任している企画部課長名義の口座によってしていることと、この口座を経由して事業資金の執行を行いさらに公費執行を不透明にしていると指摘いたします。

陳情者が本件に関する情報公開請求を行ったのは、平成30年1月12日ですが、公開された公文書を見る限り、委員会とラグビーコネクト合同会社との、ラグビー・オーストラリア代表チーム事前キャンプ招致に関する委託契約は、3か月間の契約期間を過ぎ、すでに更新されることなく失効しております。

### 【陳情項目】

小田原市議会として、ラグビー準備委員会に対し、規約に定めのない事業を行わないこと、また、小田原市の支出した委員会への負担金の執行について、小田原市職員が無用な関与を行わないよう、委員会の運営について改善を行うよう求めること。

平成30年2月9日

小田原市議会議長

加藤 仁司 様

提出者

小田原市中村原303

加藤 哲男 ㊞